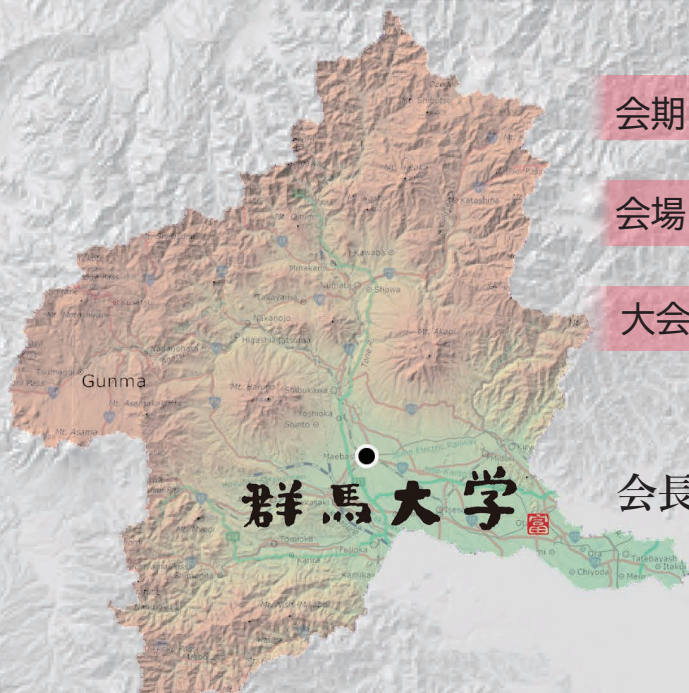


第65回 日本組織細胞化学会 総会・学術集会

The 65th Annual Meeting of the Japan Society of Histochemistry
and Cytochemistry
&
JSHC-HCS joint symposium

講演プログラム 前橋 2024

分野横断的な組織細胞化学の発展にむけて



会期 2024年10月26日(土)・27日(日)

会場 群馬大学医学部
〒371-8511 群馬県前橋市昭和町3丁目39-22

大会HP <https://conference.wdc-jp.com/jshc/65th/>



会長 松崎 利行
群馬大学大学院医学系研究科 生体構造学



主催 日本組織細胞化学会 共催 群馬大学医学部
後援 公益財団法人 前橋観光コンベンション協会

第 65 回日本組織細胞化学会総会・学術集会開催にあたって

大会長 松崎 利行 (群馬大学)

この度、第 65 回日本組織細胞化学会総会・学術集会を 2024 年 10 月 26 日 (土) ~10 月 27 日 (日) の期間、群馬大学医学部 (群馬県前橋市) において開催いたします。テーマは「分野横断的な組織細胞化学の発展にむけて」です。組織細胞化学はあらゆるライフサイエンス領域の研究や医療現場での診断で用いられる手法となりましたが、残念ながらすべての研究者や技術者が必ずしも正しい知識のもと、正しい方法で組織細胞化学を実施しているとも限りません。また近年の顕微技術の進化にともなって組織細胞化学で明らかにできること、組織細胞化学でなければ明らかにできないことも増えてきています。日本組織細胞化学会は組織細胞化学の手法の開発と応用、普及を目指す学術集団であり、会員・非会員問わず、分野横断的な研究者・技術者、学生の皆さんの本学術集会への参加を歓迎いたします。2 日間のプログラムとしては、組織細胞化学を用いた最先端研究に関するシンポジウムから、組織細胞化学の教育講演的なワークショップまで、あらゆる参加者に楽しんでいただける、学んでいただける企画を予定しています。また、昨年に引き続き、第 49 回組織細胞化学講習会との連携も図り、組織細胞化学講習会参加者の本学術集会への参加費の優遇措置や、講習会で学んだことをもとに実施した成果を発表するミニポスターも設置します。さらに、今回は米国 The Histochemical Society との合同シンポジウムを企画し、The Histochemical Society から 2 名の演者が来日する予定です。米国 The Histochemical Society と日本組織細胞化学会は 1982 年から 4 年ごとに日米合同会議を開催していましたが、2006 年のハワイでの開催以来、中断していました。日本組織細胞化学会としては、今回の合同シンポジウムをきっかけとして日米合同会議を再開できればと考えています。

会場となります群馬大学医学部は、群馬県前橋市に位置します。東京駅から高崎駅まで新幹線で 1 時間弱、高崎駅から在来線に乗り換えて 15 分ほどで前橋駅です。10 月下旬は紅葉のシーズンにもなり、医学部キャンパスの銀杏も鮮やかです。近くの敷島公園ばら園は秋バラのシーズンにもなり、多くの観光客でにぎわいます。また、少し足を延ばせば日本の名湯「伊香保温泉」があります。ぜひ、前橋で学問と自然を満喫していただければ幸いです。

開催概要

[日時] 2024年10月26日(土)・27日(日)
[会場] 群馬大学医学部 〒371-8511 群馬県前橋市昭和町3丁目39-22

[参加費] 正会員、永年会員、賛助会員：10,000円
学生会員(大学院学生)：3,000円
学生会員(学部学生・発表あり)：3,000円
※名誉会員、功労会員は参加費が無料となります。
※会員は不課税です。
非会員：12,000円
非会員(大学院学生)：5,000円
※非会員は税込です。
学部学生(参加のみ)：無料
※当日受付で学生証を提示して下さい。

第49回組織細胞化学講習会参加者は参加費が下記の通り優遇されます。

正会員、永年会員、賛助会員：7,000円
学生会員(大学院学生)：無料
※名誉会員、功労会員は参加費が無料となります。
※会員は不課税です。
非会員：9,000円
非会員(大学院学生)：2,000円
※非会員は税込です。
学部学生：無料
※当日受付で学生証を提示して下さい。

[懇親会] 10月26日(土)18:30より
会員 5,000円、学生(学部学生・大学院学生) 2,000円
非会員 5,000円、学生(学部学生・大学院学生) 2,000円
※税込です。

[事務局] 群馬大学大学院医学系研究科 生体構造学
(事務局長 向後 晶子)
〒371-8511 群馬県前橋市昭和町3丁目39-22
TEL: 027-220-7902
E-mail: 65mjshc@gmail.com

群馬大学昭和キャンパス

〒371-8511 群馬県前橋市昭和町3丁目39-22

【JR 前橋駅からバスのご利用】

- ・前橋駅北口を出ると正面にバス案内（電光掲示板）があります。
- ・前橋駅北口 **2番のりば**（バス案内のすぐ左）から関越交通バスの**系統 22（前橋渋川線）**が利用可能ですが、「**群大病院**」を経由するバスと経由しないバスがあり、経由しない場合は「**群大病院入口**」で下車します。なお系統 22 のすべてのバスが「群大病院入口」を経由します。
- ・ご不明な点はバスの乗務員にお尋ねください。
- ・前橋駅からの運賃は 200 円です。現金・交通系 IC カード（PASMO と Suica）が利用可能です。
- ・宿泊先から最寄りのバス停についてはホテルで「行先：群大病院」としてお聞きください。
- ・前橋交通ポータル https://maebashimobility.jp/bus_timetable/3461 から関越交通時刻表 22 前橋渋川線（土日祝／前橋駅発）が確認できます。

講演開始時刻に近いバスの例（土日祝／前橋駅発）

群馬大学荒牧行（系統 22K、22L、22M）

→「群大病院」下車（会場まで徒歩約 2 分、会場案内をご覧ください）

系統 22K 8：28 発 → 8：42 着

系統 22K 9：17 発 → 9：30 着

渋川駅行（系統 22A、22B）（群大病院には停車しません）

→「群大病院入口」下車（会場まで徒歩約 8 分、会場案内をご覧ください）

系統 22B 8：13 発 → 8：24 着

系統 22A 8：40 発 → 8：48 着

系統 22B 8：58 発 → 9：09 着

【JR 前橋駅または JR 新前橋駅からタクシーのご利用】

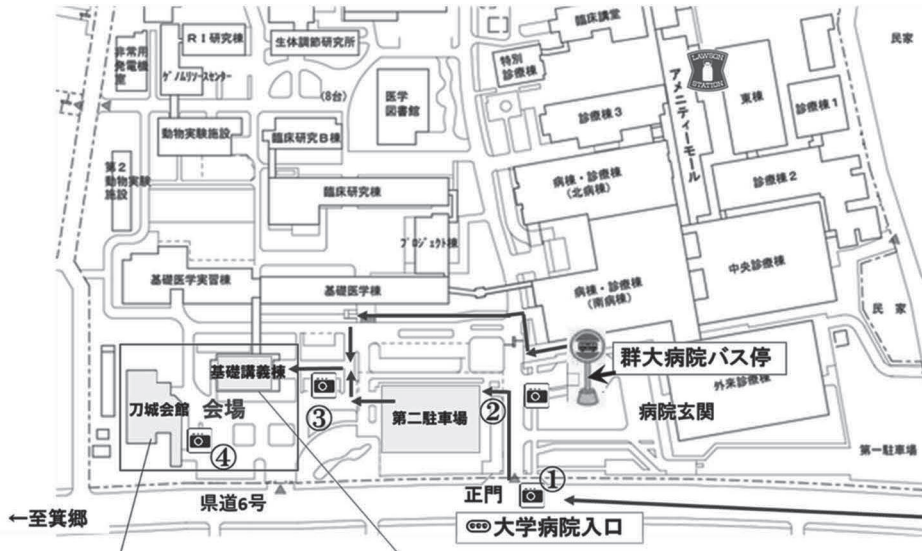
行先は 群大病院 とお伝えください。附属病院玄関付近で降ろしてくれます。

JR 前橋駅北口から 10～15 分 1,400 円程度

JR 新前橋駅東口から 15～20 分 2,000 円程度

会場案内

群馬大学昭和キャンパス



② 第二駐車場入口付近



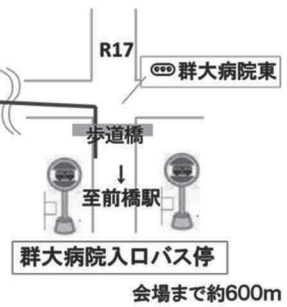
① 正門



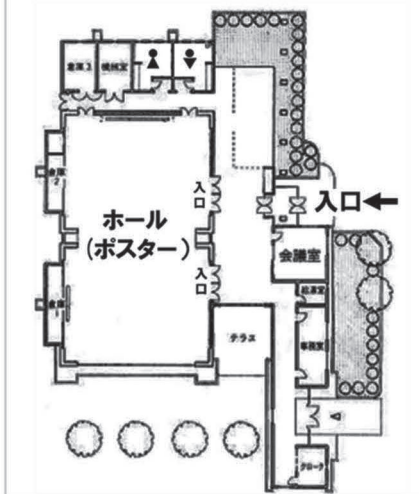
⑤ ポスター・懇親会会場(刀城会館)



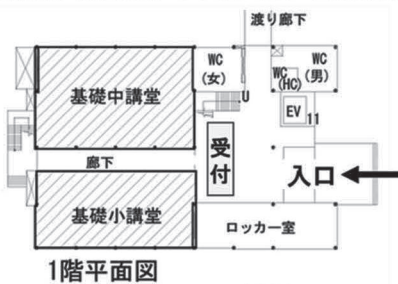
③ 受付・口演会場(基礎講義棟)



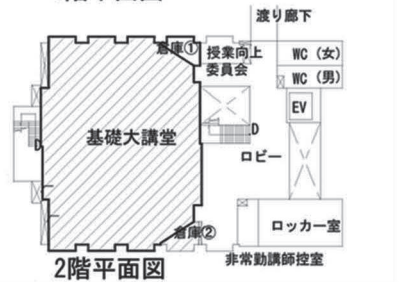
刀城会館 (ポスター・懇親会会場)



基礎講義棟 (教育講演・シンポジウム・口演会場)



1階平面図



2階平面図

日 程 表

第 1 日 目 10 月 26 日 (土)

	第1会場 (基礎大講堂)	第2会場 (基礎中講堂)	ポスター会場 (刀城会館)	
9:00				
9:20	開会の挨拶 9:20			
9:30				
10:00	シンポジウム1 (S1) 9:30~11:45 組織細胞化学が切り拓く先端研究 座長：若山友彦, 太田啓介 演者：大崎雄樹, 國村有弓, 菰原義弘, 鈴木ちぐれ, 太田啓介	教育講演1 (EL1) 9:30~12:00 組織化学の基本となる固定の原理と 応用上の諸問題 座長：菱川善隆, 北澤荘平 講師：小路武彦, 宮崎龍彦, 宮城洋平	ポスター・ ミニポスター展示	
10:30				
11:00				
11:30				
12:00				
12:30				
13:00				
13:30	総会・評議員会 13:00~13:40 授賞式 13:40~14:00 若手研究者学術奨励賞受賞講演 14:00~14:15 座長：寺田信生 演者：山崎礼二 学会賞（高松賞）受賞講演 14:15~14:45 座長：松崎利行 演者：秋元義弘			
14:00				
14:30				
15:00				ポスター・ ミニポスター討論 14:50~15:50
15:30				
16:00	JSHC-HCS joint symposium 4:00 pm~6:30 pm “Progress and Future Prospects in Molecular Histochemistry and Cytochemistry” Chairs: Joseph L. Cheatwood, Daisuke Tsuruta, Yoshitaka Hishikawa Speakers: Akira Sawaguchi, Stephen M. Hewitt, Sho Hiroyasu, Alejandro P Adam, Akira Ishikawa			ポスター・ ミニポスター展示
16:30				
17:00				
17:30				
18:00				
18:30				
19:00				
19:30			懇親会	
20:00				
20:30				

日 程 表

第2日目 10月27日(日)

	第1会場 (基礎大講堂)	第2会場 (基礎中講堂)	ポスター会場 (刀城会館)
9:00			
9:30	シンポジウム2 (S2) 9:00~11:15 診断治療に直結する組織化学の進歩 座長：北澤理子, 中峯寛和 演者：横尾英明, 三木康宏, 武田麻衣子	教育講演2 (EL2) 9:30~11:10 組織化学から病理技術へ -臨床現場でのビットフォール 座長：村田晋一, 松崎利行 講師：中西陽子, 森藤哲史	ポスター・ ミニポスター展示
10:00			
10:30			
11:00			
11:30			
12:00	一般演題(口演) 1 (O1) 11:30~12:30 座長：石井寛高	一般演題(口演) 2 (O2) 11:30~12:30 座長：三木康宏	
12:30			
13:00			
13:30			
14:00	シンポジウム3 (S3) 13:30~16:00 男女共同参画委員会企画・ 次世代育成シンポジウム 座長：中西陽子, 宮東昭彦 演者：樋口和宏, 回岩, 何文晋, 向後晶子, 深津(佐々木)佳世子		
14:30			
15:00			
15:30			
16:00			
16:30			
17:00			

利益相反（COI）の開示について

- 「利益相反（COI）に関する規定」第4条に基づき、本学術集会の発表者（共同発表者、非会員を含む）は、発表内容に関する利益相反状態について申告・開示が必要です。口頭発表の場合には発表スライドの1枚目に、ポスター発表の場合にはポスターの最初もしくは最後に、以下のような文言を記載してください。

- ・申告すべきCOI状態が無い場合

日本組織細胞化学会
COI開示
筆頭発表者氏名：○○○○

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業等はありません。

- ・申告すべきCOI状態がある場合（※開示すべき内容がある項目のみ記載）

日本組織細胞化学会
COI開示
筆頭発表者氏名：○○○○

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業として、
1. 役員・顧問：○○製薬
2. 株保有状態：○○製薬
3. 特許使用料：○○製薬
4. 講演料・原稿料：○○製薬
5. 受託研究費・共同研究費・奨学寄付金：○○製薬
6. 寄付講座所属：あり（○○製薬）
7. その他：あり（○○製薬）

シンポジウム、一般演題（口演） ご講演に際してのご案内

- 各自のPCをご持参の上、演台で直接PCを操作していただきます。
- PC動作トラブルに備えて、講演会場にWindows PCを1台用意します。ご心配な方はUSBメモリに発表ファイルを保存して会場にご持参ください。
- 液晶プロジェクター1台、スクリーン1面で、接続はHDMIおよびVGAが可能です。
- 各講演のチャイム設定は別途ご案内します。

教育講演 ご講演に際してのご案内

- オンライン配信もおこなう都合上、事前に講演データを事務局にお送りいただき、当日は会場の PC で操作していただきます。
- ご講演、質疑応答につきましてライブ配信に加え、録画・録音し、後日オンデマンド配信をおこないますのでご了承ください。
- 各講演のチャイム設定は別途ご案内します。

座長のみなさまへご案内

- ご担当セッションの開始 5 分前には、会場で待機してください。
- 各講演のチャイム設定は別途ご案内します。

ポスター・ミニポスター発表に際してのご案内

- 展示期間：10月26日（土）、27日（日） ※10月26日（土）12:00 までに掲示してください。
- 展示会場：ポスター会場（刀城会館）
- ポスター・ミニポスター討論：

10月26日（日） 14:50～15:50

前半（14:50～15:20） 奇数番号の演題討論

後半（15:20～15:50） 偶数番号の演題討論

※ 上記の時間帯、各自のポスター前で説明及び質疑応答にご対応ください。

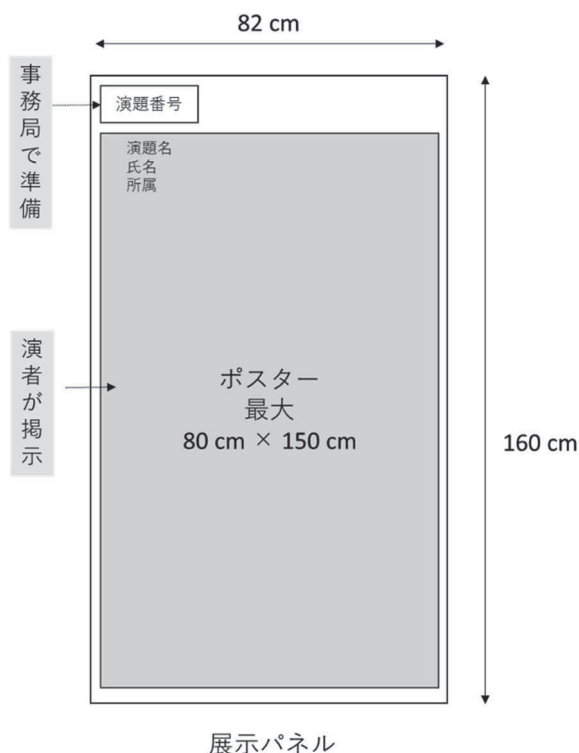
- ポスター・ミニポスター展示：

展示パネルの寸法は、82 cm × 160 cm（横幅×高さ）です。ポスターの 演題番号 No.カードおよび掲示に必要な画鋸は、事務局で会場にご用意いたします。

- ポスター・ミニポスターの撤去：

10月27日（日）13:00 まで

撤去時間を過ぎても掲示してあるポスターは、事務局で撤去処分いたしますのであらかじめご了承ください。



参加者へのご案内

名札

- 招待者、学部学生の参加者の方は、受付で名札をお渡しします。
- 上記以外の方は参加登録ページから事前に名札をダウンロードし、印刷したものをご持参ください。

総合受付

- 総合受付は基礎講義棟（口演会場）1階ロビーです。
- 名札をご持参された参加者の方は会場での受付は不要です。受付で名札ホルダーとプログラム集をお取りになって会場にお進みください。
- 演者（教育講演、シンポジウム、一般演題）および座長の方は、発表日または座長ご担当日に会場に到着されたら必ず受付にお立ち寄りください。
- 学部学生の参加者は受付で学生証の確認をしますので、必ず受付にお立ち寄りください。

クローク

- 基礎講義棟（口演会場）内にクロークを設けますので、会場でご案内します。

講演予稿集

- 講演予稿集はPDF版のみの配布です。大会ホームページにご案内しますので、あらかじめダウンロードしてください。冊子での配布はございません。

教育講演のライブ配信およびオンデマンド配信

- 教育講演に限りライブ配信およびオンデマンド配信をおこないます。質疑応答も含めて配信しますことをご了承ください。

Wi-Fi 接続

- 国際学術無線 LAN ローミング基盤「eduroam」に接続できます。
eduroam のアカウント取得に関しては、所属機関の担当者にお問い合わせください。
念のため、事前に所属機関にて eduroam に接続できることを確認してください。
会場において eduroam 以外の無料 Wi-Fi への接続はできません。

昼食

- ランチョンセミナーの開催はありません。附属病院内にレストラン（10月26日営業）、カフェ（10月27日営業）、コンビニ（両日営業）がありますので、近隣の飲食店とあわせてご利用ください。

日本組織細胞化学会関連会議

- AHC 編集委員会
日時：10月25日（金）14:00～14:50
会場：群馬大学医学部特別会議室
- 定例理事会
日時：10月25日（金）15:00～17:00
会場：群馬大学医学部特別会議室
- 総会・評議員会
日時：10月26日（土）13:00～13:40
会場：群馬大学医学部基礎大講堂（第1会場）

日本組織細胞化学会 2024年度各賞受賞者

- 第20回日本組織細胞化学会学会賞（高松賞）受賞者
秋元 義弘（杏林大学）
- 第21回日本組織細胞化学会若手研究者学術奨励賞 受賞者
山崎 礼二（自治医科大学）
- 第26回 AHC 論文賞受賞論文
論文名： Label-free Assessment of the Nascent State of Rat Non-alcoholic Fatty Liver Disease Using Spontaneous Raman Microscopy
第一著者名： Masashi Takemura (Department of Pathology and Cell Regulation, Graduate School of Medical Science, Kyoto Prefectural University of Medicine; Department of Molecular Gastroenterology and Hepatology, Graduate School of Medical Science, Kyoto Prefectural University of Medicine)
掲載号数、頁： Vol.55, No.2 p.57-66

論文名： A Single Administration of Progesterone during the Neonatal Period Shows No Structural Changes in Male Reproductive Tracts in Mice
第一著者名： Takuya Omotehara (Department of Anatomy and Life Structure, Juntendo University Graduate School of Medicine; Department of Anatomy, Tokyo Medical University)
掲載号数、頁： Vol.56 No.6 p.127-136

論文名： Enzyme-labeled Antigen Method: Factors Influencing the Deterioration of Antigen-binding Activity of Specific Antibodies during Formalin Fixation and Paraffin Embedding
第一著者名： Yasuyoshi Mizutani (Department of Molecular Oncology, Fujita Health University)

School of Medicine)
掲載号数、頁： Vol.55, No.5, p.129-148

※第一著者アルファベット順

※ご所属機関は論文公開当時の情報です。

プログラム

第1日目 10月26日(土)

【第1会場】

9:20 開会の挨拶

9:30~11:45 シンポジウム1 (S1)

組織細胞化学が切り拓く先端研究

座長 若山 友彦 (熊本大学)・太田 啓介 (久留米大学)

S1-01 脂肪滴形成に関わる膜形態制御機構

○大崎 雄樹, 和田 亘弘
(札幌医科大学医学部解剖学第一講座)

S1-02 排卵に対する外因性エストロジオールの抑制的作用の解析

○國村 有弓^{1,2}, 岩田 衣世¹, 小澤 一史^{1,3}, 石井 寛高¹
(¹日本医科大学 大学院医学研究科 解剖学・神経生物学分野, ²日本医科大学 医療管理学, ³佛教大学 保健医療技術学部)

S1-03 がんにおけるマクロファージの役割; 病理検体を使用した研究の紹介

○菰原 義弘
(熊本大学大学院生命科学研究部細胞病理学講座)

S1-04 神経終末におけるシナプス小胞プール形成への α -Synucleinの役割について— α -Synuclein-mKate2 発現マウスを用いて

○鈴木 ちぐれ¹, 山口 隼司², 三井 駿¹, 眞田 貴人¹, 角田 宗一郎², 谷田 以誠¹, 内山 安男¹
(¹順天堂大学大学院医学研究科 老人性疾患病態・治療研究センター, ²順天堂大学大学院医学研究科 形態イメージング)

S1-05 光学顕微鏡と電子顕微鏡を横断する先端的相関観察法

○太田 啓介
(久留米大学医学部先端イメージング研究センター)

11:45~13:00 休憩

13:00~13:40 総会・評議員会

13:40~14:00 授賞式

14:00~14:15 若手研究者学術奨励賞受賞講演

座長 寺田 信生 (信州大学)

脱髄病変の肉眼的観察法と内包脱髄モデルマウスの開発

○山崎 礼二
(自治医科大学医学部解剖学講座組織学部門)

糖質の組織細胞化学研究の展開

- 秋元 義弘
（杏林大学医学部顕微解剖学教室）

16:00～18:30 JSHC-HCS joint symposium, sponsored by AHC and supported by Gunma University
“Progress and Future Prospects in Molecular Histochemistry and Cytochemistry”

Session chairs:

Joseph L. Cheatwood (Southern Illinois University)

Daisuke Tsuruta (Osaka Metropolitan University)

Yoshitaka Hishikawa (University of Miyazaki)

Opening Remarks: Yoshitaka Hishikawa (JSHC President, University of Miyazaki)

JS-01 Low-vacuum scanning electron microscopy for multiscale imaging of cell/tissue architectures on regular slide-glass and immunohistochemical localization via *in situ* nanogold labeling strategy

- Akira Sawaguchi
(Department of Anatomy, Faculty of Medicine, University of Miyazaki)

JS-02 Development of molecular fixatives for pathology

- Stephen M. Hewitt¹, Robert A. Star², Joon-Yong Chung¹, Kris Ylaya¹, Candice Perry³
(¹Laboratory of Pathology, National Cancer Institute, National Institutes of Health, ²National Institute of Diabetes and Digestive Diseases, National Institutes of Health, ³Leidos)

JS-03 Extracellular role of granzymes in inflammatory skin diseases

- Sho Hiroyasu, Daisuke Tsuruta
(Department of Dermatology, Graduate School of Medicine, Osaka Metropolitan University)

JS-04 Mouse and in vitro models of vascular dysfunction demonstrates a crucial role for endothelial IL-6 signaling during shock

- Nina Martino, Shuhan Lu, Ramon Bossardi Ramos, ○Alejandro P Adam
(Department of Molecular and Cellular Physiology, Albany Medical College)

JS-05 Exploration for novel biomarkers in gastric cancer using spatial transcriptome analysis

- Akira Ishikawa¹, Takafumi Fukui¹, Aya Kido¹, Kazuya Kuraoka², Narutaka Katsuya¹, Naohiro Uraoka³, Takahisa Suzuki⁴, Shiro Oka⁵, Takahiro Kotachi⁵, Hassan Ashktorab⁶, Duane Smoot⁷, Wataru Yasui^{1,8}
(¹Dept Mol Pathol, Hiroshima Univ, ²Dept Diag Pathol, Kure Med Ctr and Chugoku Cancer Ctr, ³Dept Pathol, Kure Kyosai Hospital, ⁴Dept Surgery, Kure Med Ctr and Chugoku Cancer Ctr, ⁵Dept Gastroenterol, Hiroshima Univ, ⁶Dept Med Cancer Ctr, Howard University College Med, ⁷Dept Med, Meharry Medical College, ⁸Div Pathology, Hiroshima City Med Association Clin Lab)

Closing Remarks: Anne Sally Davis (HCS President-Elect, University of Pretoria)

【第2会場】

9:30～12:00 教育講演1 (EL1)

組織化学の基本となる固定の原理と応用上の諸問題

座長 菱川 善隆 (宮崎大学)・北澤 荘平 (愛媛大学)

EL1-01 組織細胞化学に於ける固定原理とその適性使用

○小路 武彦
(長崎大学研究開発推進機構)

EL1-02 Precision medicine を成功させるための組織固定最適化

○宮崎 龍彦, 川村 勇人, 片桐 恭雄, 小林 一博, 酒々井 夏子
(岐阜大学医学部附属病院病理部)

EL1-03 人体材料の質の変化、変質/劣化

○宮城 洋平¹, 笠島 理加^{1,2}
(¹神奈川県立がんセンター臨床研究所, ²神奈川県立がんセンターがんゲノム診療センター)

【ポスター会場】

14:50～15:50 ポスター・ミニポスター討論

前半 (14:50～15:20) 奇数番号の演題討論

後半 (15:20～15:50) 偶数番号の演題討論

第2日目 10月27日 (日)

【第1会場】

9:00～11:15 シンポジウム2 (S2)

診断治療に直結する組織化学の進歩

座長 北澤 理子 (愛媛大学)・中峯 寛和 (日本バプテスト病院)

S2-01 脳腫瘍の病理診断と免疫組織化学

○横尾 英明^{1,2}
(¹群馬大学大学院医学系研究科病態病理学, ²群馬大学医学部附属病院病理部・病理診断科)

S2-02 乳癌の診断、治療と研究における組織細胞化学

○三木 康宏¹, 岩渕 英里奈², 山崎 あすみ³, 井上 千裕¹, 鈴木 貴^{1,2,4}
(¹東北大学大学院医学系研究科 病理診断学分野, ²東北大学大学院医学系研究科 病理検査学分野, ³東北大学大学院医学系研究科 乳腺・内分泌外科学分野, ⁴東北大学病院 病理部)

S2-03 日常の病理診断における ISH の有用性

○武田 麻衣子¹, 中峯 寛和²

(¹奈良県立医科大学 病理診断学講座, ²日本バプテスト病院 中央検査部)

11:15~11:30 休憩

11:30~12:30 一般演題 (口演) 1 (O1)

座長 石井 寛高 (日本医科大学)

O1-01 マウス精子形成過程における DNA 四重鎖構造の発現動態

○石塚 匠¹, Kham Mo Aung¹, Baljinyam Lkham-Erdene¹, 久保田 壽樹^{1,2}, 甲斐 健吾^{1,3}, 菱川 善隆¹

(¹宮崎大学医学部解剖学講座組織細胞化学分野, ²宮崎大学医学部感覚運動医学講座顎顔面口腔外科学分野, ³宮崎大学医学部外科学講座)

O1-02 ダウン症候群モデルマウスにみられる精子形成障害の研究

○若山 友彦¹, チョムプーシー ナツパン¹, 菅原 太一¹, 野口 和浩¹, 園田 佳世子¹, 南 敬²

(¹熊本大学大学院生命科学研究部生体微細構築学講座, ²熊本大学大学院生命科学研究部生命資源研究支援センター分子血管制御分野)

O1-03 マウスとヒトの性的二型核の相同性に関する組織学的検討

○相羽 育人¹, 森下 雅大², 石井 寛高²

(¹日本医科大学医学部医学科, ²日本医科大学大学院医学研究科 解剖学・神経生物学分野)

O1-04 人工有機ヒ素化合物ジフェニルアルシン酸の霊長類脳に及ぼす影響の解析

○増田 知之¹, 石井 一弘², 岩崎 信明³

(¹目白大学保健医療学部, ²医療法人健佑会いちほら病院, ³社会医療法人若竹会土浦リハビリテーション病院)

O1-05 パラフィン切片を低真空走査型電顕で可視化する非ウラン電子染色法開発

○澤口 朗¹, 上村 健², 北川 恭子¹, 長島 陽子¹, 高橋 伸育¹

(¹宮崎大学医学部解剖学, ²日立ハイテク)

12:30~13:30 休憩

13:30~16:00 シンポジウム 3 (S3)

男女共同参画委員会企画・次世代育成シンポジウム

座長 中西 陽子 (日本大学)・宮東 昭彦 (杏林大学)

S3-01 腸管虚血再灌流傷害における SETDB1 の腸上皮細胞の核クロマチン制御機構への関与

○樋口 和宏^{1,2}, 池ノ上 実^{1,2}, 高橋 伸育³, 石塚 匠¹, 甲斐 健吾^{1,2}, 久保田 壽樹¹, 澤口 朗³, 菱川 善隆¹

(¹宮崎大学医学部解剖学講座組織細胞化学分野, ²宮崎大学医学部外科学講座, ³宮崎大学医学部解剖学講座超微形態科学分野)

S3-02 安定性高い新規蛍光試薬及び蛍光電子顕微鏡の開発とその応用

○回 岩¹, 松村 竜馬¹, 高木 孝士², 徳田 基³, 磯部 信一郎¹
(¹九州産業大学生命科学部生命科学科, ²昭和大学電子顕微鏡室, ³株式会社 Resonant (レゾナント))

S3-03 心時相による心筋 redox states の変化：急速凍結心のラマン光解析から

○何 文晋¹, 原田 義規¹, 山中 真仁², 熊本 康昭^{2,3}, 閻闡 孝介⁵, 江越 脩祐⁵, 袖岡 幹子⁵, 藤田 克昌^{2,3,4}, 田中 秀央^{1,6}
(¹京都府立医科大学 細胞分子機能病理学, ²大阪大学大学院工学研究科 物理学系専攻, ³大阪大学 先導的学際研究機構, ⁴産業技術総合研究所 先端フォトニクス・バイオセンシングオープンイノベーションラボラトリ, ⁵理化学研究所 環境資源科学研究センター 触媒・融合研究グループ, ⁶京都先端科学大学 健康医療学部)

S3-04 男女による男女のための男女共同参画とは

○向後 晶子
(群馬大学大学院医学系研究科生体構造学)

S3-05 ワーク・ライフ・バランスと自己実現：介護、育児、研究、教育の軌跡

○深津 (佐々木) 佳世子
(共立女子大学 家政学部 食物栄養学科/大学院家政学研究科 栄養学研究室)

【第2会場】

9:30～11:10 教育講演 2 (EL2)

組織化学から病理技術へー臨床現場でのピットフォール

座長 村田 晋一 (和歌山県立医科大学)・松崎 利行 (群馬大学)

EL2-01 分子病理診断に用いる組織化学 -コントロールの意義-

○中西 陽子¹, 廣谷 ゆかり¹, 鈴木 敦子², 増田 しのぶ^{1,2}
(¹日本大学医学部病態病理学系腫瘍病理学分野, ²日本大学医学部附属板橋病院病理部)

EL2-02 パラフィンおよび凍結組織切片作製技術

○森藤 哲史¹, 廣井 禎之²
(¹洛和会音羽病院 臨床検査部, ²順天堂大学 医療科学部)

11:10～11:30 休憩

11:30～12:30 一般演題 (口演) 2 (O2)

座長 三木 康宏 (東北大学)

O2-01 新規皮膚腫瘍断端部観察方法の開発：二光子励起顕微鏡による3次元イメージング

○吉田 諭¹, 川上 良介², 仁子 陽輔³, 今村 健志², 菱川 善隆⁴, 村上 正基⁴
(¹愛媛大学大学院医学系研究科 皮膚科学, ²愛媛大学大学院医学系研究科 分子病態医学, ³高知大学教育研究部総合科学系複合領域科学, ⁴宮崎大学医学部 解剖学講座組織細胞化学)

O2-02 ホルマリン固定パラフィン包埋（FFPE）の脱パラ操作が不要になるスライドの開発

○高木 孝士
(昭和大学 電子顕微鏡室)

O2-03 ヒト乳がん細胞集団におけるがん幹細胞様細胞の浸潤能不均一性

○瀬ノ田 采子¹, 山添 洋子², 井上 沙奈³, 吉川 清次², 高橋 玲^{1,2}
(¹同志社女子大学大学院薬学研究科, ²同志社女大学薬学部, ³立命館大学薬学部)

O2-04 臍 EUS-FNA 深紫外表面励起画像に対する CycleGAN を用いた擬似 H&E 変換

○中尾 龍太¹, 小山 友季^{1,2}, 佐藤 淳哉³, 新岡 宏彦⁴, 高松 哲郎^{1,5}
(¹京都府立医科大学 細胞分子機能病理学, ²京都府立医科大学 消化器内科学, ³大阪大学大学院医学系研究科 放射線統合医学講座 放射線医学, ⁴九州大学 データ駆動イノベーション推進本部 健康医療 DX 推進部門, ⁵京都府立医科大学 医学フォトニクス講座)

O2-05 造影 CT データにより算出する細胞外容量分画を用いたオキサリプラチン誘発性類洞障害の診断能についての組織学的検討

○甲斐 健吾^{1,2}, 石塚 匠¹, 久保田 壽樹¹, 樋口 和宏², 七島 篤志², 菱川 善隆¹
(¹宮崎大学医学部 解剖学講座組織細胞化学分野, ²宮崎大学医学部 外科学講座)

ポスター発表

P-01 Membranous expression of S100A16 in bladder cancer

○佐藤 雄一^{1,2}, 勝又 洋樹², 清水 ゆり子², 佐々木 政嘉¹, 神田 宏美¹, 岡田 清美¹,
伊藤 あゆみ¹, 松本 和将²

(¹株式会社北里大塚バイオメディカルアッセイ研究所, ²北里大学医学部 泌尿器科学)

P-02 HER2 結合タンパクによる HER2 低発現乳癌の特徴の解明

○岩渕 英里奈¹, 三木 康宏², 石井 博子², 山崎 あすみ³, 石田 孝宣³, 鈴木 貴^{1,2,4}

(¹東北大学大学院 医学系研究科 病理検査学分野, ²東北大学大学院 医学系研究科 病理診断学分野, ³東北大学大学院 医学系研究科 乳腺・内分泌外科学分野, ⁴東北大学病院病理部)

P-03 食道および中咽頭の扁平上皮癌における Calmodulin-Like Protein 5 (CALML5) の発現

○谷脇 真潮^{1,2}, 北澤 理子¹, 大野 輝之^{1,2}, 原口 竜摩², 北澤 荘平²

(¹愛媛大学医学部附属病院・病理診断科, ²愛媛大学・医・分子病理)

P-04 メチル CpG 結合蛋白 2 (MeCP2) は VCAN の発現促進により十二指腸乳頭部癌関連線維芽細胞の活性化に寄与する

○大野 輝之^{1,2}, 北澤 理子¹, 谷脇 真潮^{1,2}, 原口 竜摩², 北澤 荘平²

(¹愛媛大学医学部附属病院・病理診断科, ²愛媛大学・医・分子病理)

P-05 3年以上保管したホルマリン固定パラフィン包埋ブロックの遺伝子パネル検査への適否に関する検討

○川村 勇人, 宮崎 龍彦

(岐阜大学医学部附属病院 病理部)

P-06 パラフィン包埋切片への応用めざした酵素抗原法の技術開発

○水谷 泰嘉¹, 塩竈 和也², 稲田 健一³, 竹内 俊幸¹, 新美 敦子¹, 鈴木 元¹, 堤 寛⁴

(¹藤田医科大学医学部 分子腫瘍学, ²藤田医科大学医療科学部 臨床教育連携ユニット病理組織細胞学分野, ³藤田医科大学医学部 病理診断学, ⁴つつみ病理診断科クリニック)

P-07 About Our Journal, Acta Histochemica et Cytochemica (AHC)

○北澤 荘平^{1,2}

(¹Editor-in-Chief, AHC, ²Ehime University Graduate School of Medicine)

P-08 培養細胞系を用いた細胞間伝播性 α シヌクレインシードの同定

○田口 勝敏¹, 渡邊 義久², 田中 雅樹¹

(¹京都府立医科大学 大学院医学研究科 生体構造科学, ²京都府立医科大学 大学院医学研究科 基礎老化学)

- P-09 膜骨格蛋白 Membrane palmitoylated protein 6 のマウス大脳での蛋白複合体と行動への影響**
 ○齊藤 百合花^{1,2,3}, 本藤 紗香², 上條 明生^{3,4}, 鈴木 龍雄⁵, 亀谷 清和³, 坂本 毅治⁶, 寺田 信生³
 (1 帝京科学大学医学教育センター, 2 帝京科学大学大学院理工学研究科バイオサイエンス専攻, 3 信州大学大学院医学系専攻保健学分野医療生命科学ユニット, 4 長野県看護大学人間基礎科学講座, 5 信州大学学術研究院医学系分子細胞生理学教室, 6 関西医科大学生命医学研究所がん生物学部門)
- P-10 老齢マウスにおける新生オリゴデンドロサイトの分化と形態形成の異常**
 ○Sasikarn Looprasertkul¹, 山崎 礼二¹, 長内 康幸¹, 矢田部 恵¹, 大野 伸彦^{1,2}
 (1 自治医科大学医学部解剖学講座組織学部門, 2 生理学研究所超微形態研究部門)
- P-11 マウス小脳白質の発達過程で生み出される単一オリゴデンドロサイトによる髄鞘形成の軸索選択性**
 ○Batpurev Battulga¹, 長内 康幸¹, 山崎 礼二¹, 篠原 良章¹, 大野 伸彦^{1,2}
 (1 自治医科大学医学部解剖学講座組織学部門, 2 生理学研究所超微形態研究部門)
- P-12 三叉神経知覚系におけるガストリン放出ペプチド受容体の局在およびかゆみシグナル伝達における機能**
 ○高浪 景子^{1,2,3}, 黒岩 柁哉⁴, 石川 練⁴, 今井 悠二^{2,5}, 大石 あかね^{2,5}, 橋野 碧⁶, 霜田 靖⁴, 坂本 浩隆⁷, 小出 剛^{2,3}
 (1 奈良女子大学大学院生活環境科学系生活健康学領域, 2 国立遺伝学研究所マウス開発研究室, 3 総合研究大学院大学・遺伝学コース, 4 長岡技術科学大学技学研究院物質生物系, 5 国立遺伝学研究所技術課, 6 奈良女子大学大学院人間総合科学研究科心身健康学専攻, 7 岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域)
- P-13 痒みの神経回路の可視化に向けた新規標識法の検討**
 ○橋野 碧¹, 長谷川 功紀², 高浪 景子³
 (1 奈良女子大学大学院人間総合科学研究科心身健康学専攻, 2 福島県立医科大学保健科学部診療放射線学科, 3 奈良女子大学大学院生活環境科学系生活健康学領域)
- P-14 性ホルモン非存在下の糖尿病モデルラットにおける生殖制御中枢 KNDy ニューロンの性差の組織学的解析**
 ○大塚 真衣¹, 岩田 衣世¹, 小澤 一史^{1,2}, 石井 寛高¹
 (1 日本医科大学大学院 医学研究科 解剖学・神経生物学分野, 2 佛教大学 保健医療技術学部)
- P-15 免疫組織化学法に用いる抗 ESR1 抗体の検討と ESR1・ESR2 の二重染色**
 ○相馬 ミカ, 森下 雅大, 肥後 心平, 石井 寛高
 (日本医科大学大学院医学研究科解剖学・神経生物学分野)
- P-16 Immunohistochemical analysis of TXNIP in the brain of a mouse model of diabetes, Akita mice**
 ○Asraa Faris Aldoghachi¹, Daijiro Yanagisawa¹, Katsutaro Morino², Shinsuke Ishigaki¹, Ikuo Tooyama³
 (1Molecular Neuroscience Research Center, Shiga University of Medical Science, 2Department of Diabetes and Endocrinology Medicine, Kagoshima University, 3Medical Innovation Research Center, Shiga University of Medical Science)

P-17 セクレトグロビン 3A2 による食物アレルギー性腸炎改善メカニズムの解明

○開沼 智博, 福田 二千翔, 坂原 聖士, 高倉 啓, 阿部 宏之, 黒谷 玲子
(山形大学・大学院理工学研究科・化学・バイオ工学専攻)

P-18 高脂肪食摂取にともなう脳内活性化領域の網羅的探索

○山田 俊児¹, 小島 知矩¹, 恒岡 洋右², 田中 雅樹¹
(¹京都府立医科大学 解剖学 生体構造科学, ²東邦大学医学部 解剖学講座 微細形態学分野)

P-19 エピジェネティック制御因子 MeCP2 の骨形成過程における役割

○原口 竜摩¹, 北澤 理子², 今井 祐記³, 北澤 荘平¹
(¹愛媛大学分子病理学, ²愛媛大学附属病院病理診断科, ³愛媛大学プロテオサイエンスセンター)

P-20 Lipid droplet accumulation accelerates hepatocyte proliferation via the SphK1/S1PR2 pathway in MCD-diet mouse partial hepatectomy

○Baljinnyam Lkham-Erdene¹, 久保田 壽樹^{1,2}, 石塚 匠¹, 甲斐 健吾^{1,3}, 樋口 和宏^{1,3},
Kham Mo Aung¹, Jargal-Erdene Batmunkh¹, 菱川 善隆¹
(¹宮崎大学医学部解剖学講座組織細胞化学分野, ²宮崎大学医学部感覚運動医学講座顎顔面口腔外科学分野, ³宮崎大学医学部外科学講座)

P-21 舌癌における線維化と細胞外容積分画 (ECV) を用いた予後予測に関する臨床的有用性の検討

○久保田 壽樹^{1,2}, 白水 慎一郎², Lkham-Erdene Baljinnyam¹, 石塚 匠¹, 甲斐 健吾^{1,3},
樋口 和宏^{1,3}, 甲斐 亮之介^{1,2}, Aung Kham Mo¹, 金氏 毅², 田中 文恵², 平山 聞一², 永田 順子²,
福井 丈仁², 山下 善弘², 菱川 善隆¹
(¹宮崎大学医学部解剖学講座組織細胞化学分野, ²宮崎大学医学部感覚運動医学講座顎顔面口腔外科学分野,
³宮崎大学医学部外科学講座)

P-22 アトピー性皮膚炎モデルマウスに対するウルトラファインバブルシャワーの効果

松本 彩希¹, 今西 久幹¹, 高市 美佳¹, 平江 真輝², 中井 浩三^{1,3}, ○鶴田 大輔¹
(¹大阪公立大学大学院医学研究科皮膚病態学, ²株式会社サイエンス, ³高知大学医学部皮膚科学講座)

P-23 NAFLD モデルマウスにおけるフロリジンの肝臓組織および細胞小器官への影響：脂肪滴とミトコンドリアの形態変化

○齊藤 成¹, 志茂 聡², 小澤 朋佳³, 藤田 雛子³, 平山 将也⁴, 辻 雄大⁵, 高橋 和男⁵,
伊藤 弘康^{1,6}
(¹藤田医科大学医療科学部 病態システム解析医学分野, ²健康科学大学健康科学部 リハビリテーション学科
作業療法学コース, ³藤田医科大学医療科学部 医療検査学科, ⁴藤田医科大学医療科学部 病理組織細胞学分野, ⁵
藤田医科大学医学部 生体構造学講座, ⁶藤田医科大学医学部 臨床検査科)

ミニポスター発表

MP-01 自然発症非肥満2型糖尿病モデル：雌性SDTラット膵島における病理組織学的変化の経時的観察

○各務 温花¹, 前川 竜也², 宇野 絹子³, 笹瀬 智彦³, 太田 毅³, 美谷島 克宏^{1,2}

(¹東京農業大学大学院応用生物科学研究科 食品安全健康学専攻, ²東京農業大学応用生物科学部 食品安全健康学科, ³京都大学大学院農学研究科 応用生物科学専攻生体機構学分野)

MP-02 多発性骨髄腫の塗抹標本でみられる細胞質内空胞について

○近藤 嘉彦¹, 矢野 浩夢^{2,3}, 菰原 義弘³

(¹熊本大学大学院 博士課程 細胞病理, ²熊本大学 保健学科 腫瘍病理解析学, ³熊本大学大学院生命科学研究所 細胞病理)

MP-03 色素沈着皮膚標本の免疫組織学的染色法の検討

○橋本 朋子¹, 竹森 久美子², 奥本 勝美¹, 武市 昌美¹, 重吉 康史³

(¹近畿大学医学部 共同研究施設分子形態共同研究室, ²近畿大学農学部食品栄養学科, ³近畿大学医学部解剖学教室)

謝 辞

第 65 回日本組織細胞化学会総会・学術集会を開催するにあたりまして、多大なご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

助成

群馬大学（2024 年度国際シンポジウム助成）
一般社団法人 群馬大学医学部医学科同窓会 刀城クラブ
一般財団法人 同愛会
公益財団法人 前橋観光コンベンション協会

広告

株式会社 講談社
ライカマイクロシステムズ株式会社

寄付

株式会社 東屋医科器械
太田記念病院 青木 史暁 様
伊部 崇史 様
医療法人さるきクリニック 理事長 猿木 和久 様
医療法人蒼岳会 スコーネデンタルオフィス 理事長 須佐 岳人 様
医療法人白陽会 ベル小児科クリニック 院長 鈴木 雅登 様
かみおこどもクリニック 院長 神尾 綾乃 様
込谷クリニック 院長 込谷 淳一 様
たけむら整形外科クリニック 院長 竹村 達弥 様
田村 靖之 様
なぐも眼科 院長 南雲 日立 様
宮久保眼科 院長 宮久保 純子 様

（五十音順 2024 年 10 月 9 日現在）

表紙の写真提供：前橋観光コンベンション協会（敷島公園門倉テクノばら園）、群馬県観光物産国際協会（草津湯畑、みなかみ町一ノ倉沢）

表紙の背景の出典：国土地理院ウェブサイト

<https://maps.gsi.go.jp/#9/36.591274/139.303894/&base=english&ls=english%7Chillshademap&blend=0&disp=11&lcd=hillshademap&vs=c1g1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f0>

<https://maps.gsi.go.jp/#10/36.522329/139.600525/&base=english&ls=english%7Chillshademap%7Crelief&blend=01&disp=111&lcd=relief&vs=c1g1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f0&d=m>

色別標高図・陰影起伏図（地理院地図 電子国土 Web）を加工して作成

第 65 回日本組織細胞化学会総会・学術集会

講演プログラム

2024 年 10 月 26 日 発行

発 行 者 第 65 回日本組織細胞化学会総会・学術集会
会 長：松崎 利行
〒371-8511 群馬県前橋市昭和町 3 丁目 39-22
群馬大学大学院医学系研究科 生体構造学分野

印 刷 株式会社国際文献社
〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5

From Eye to Insight

Leica
MICROSYSTEMS

最先端の精度で自動化を インテグレーション

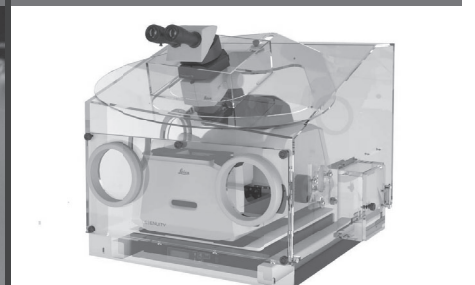
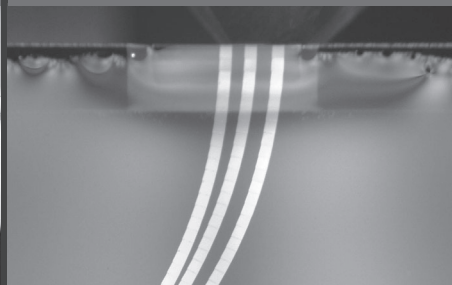
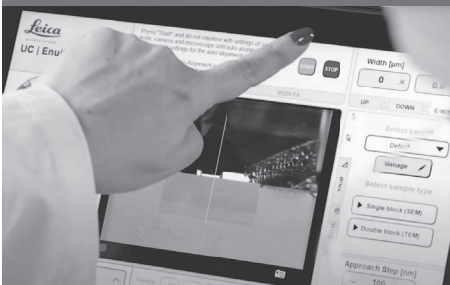
超薄切片作製用ウルトラミクロトーム

UC Enuity

自動化技術でよりスマートに

すべての切片を有効に

安定した凍結切片作製を実現



- 起動時のイニシャライズを含め、各種自走系機能の設定を包括して、自動セットアップ
- 各種ソフトウェアパッケージでアプリケーションに合わせた機能追加できる拡張性
- 精密な温度制御とクライオチャンバーにより、凍結切片作製の安定性と操作性を継続
- クライオトランスファーシステムを使用したワークフローの接続が可能
- アレイトモグラフィ向け高品質リボン状超薄切片を、基板上に効率的に回収
- 蛍光実体顕微鏡観察像や μ CTスキャンデータを用いたターゲットのトリミングなど、先進的な拡張性も



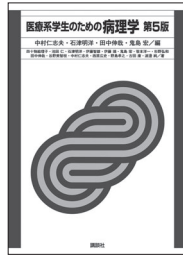
UC Enuity 製品情報はこちら
QRをスキャンしてください

医療系学生のための病理学

中村仁志夫 / 石津明洋 / 田中伸哉 / 鬼島 宏・編

B5・288頁・定価：4,400円（税込）
ISBN 978-4-06-527953-3

総論と各論をバランスよく構成した定番テキストのフルカラー改訂版。看護系、臨床検査技師、薬学系、作業療法士や理学療法士などのリハビリテーション系に最適。内容理解のための章末問題を掲載した。



第5版

新版 臨床化学 第4版

生化学的検査

片山善章 / 栢森裕三 / 長村洋一 / 竹橋正則・編

B5・368頁・定価：4,620円（税込）
ISBN 978-4-06-534128-5 **電子あり**

最新の臨床検査技師国家試験出題基準に準拠し、最新の知見改訂。総論で分析手法、各論で生体物質を詳述。フルカラーで理解しやすい。



新刊

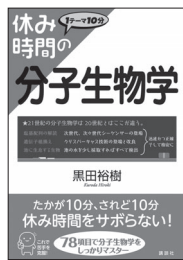
休み時間シリーズ

休み時間の分子生物学

黒田裕樹・著

A5・240頁・定価：2,420円（税込）
ISBN 978-4-06-520173-2 **電子あり**

1テーマ10分を目安に分子生物学の基本事項とポイントを78項目で解説。世間を騒がすコロナウイルスやPCR検査、mRNAワクチンなどの気になる話題についても掲載。分子生物学の初学者や苦手意識のある人におススメ！

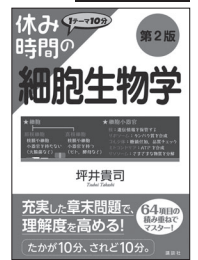


休み時間の細胞生物学

坪井貴司・著

A5・192頁・定価：2,420円（税込）
ISBN 978-4-06-531787-7 **電子あり**

1テーマ10分！ 全学生に知ってほしい細胞のしくみを全64項目に凝縮。複雑な細胞の情報伝達や細胞周期のしくみも、フルカラーイラストと充実した章末問題でよく分かる！ 医学、薬学、工学、農学などのさまざまな分野に活かせる1冊！



第2版

栄養科学シリーズ NEXT

人体の構造と機能及び疾病の成り立ち 栄養解剖生理学

河田光博 / 小澤一史 / 上田陽一・編

B5・288頁・定価：3,520円（税込）
ISBN 978-4-06-516599-7 **電子あり**

消化器系や循環器系を詳しく学び、代謝を学ぶ生化学につなげる。専門科目の臨床栄養学や発達・成長に必要な栄養学、食物アレルギーや誤嚥の理解に必要な基礎知識を幅広く取り上げた。カラーイラストを多用した見てわかる構成に。



人体の構造と機能 解剖生理学実習

森田規之 / 河田光博 / 松田賢一・編

A4・184頁・定価：3,190円（税込）
ISBN 978-4-06-155377-4 **電子あり**

ヒトの体を総合的に理解できるように、構造の把握を中心に、系統立てて組織のスケッチや生理学実験を組み合わせた実習書。消化器系、循環器系、泌尿器系はもちろん、皮膚や味覚、骨格器系、呼吸器系、神経系なども扱う。



採用者特典
組織カラー
画像ファイル

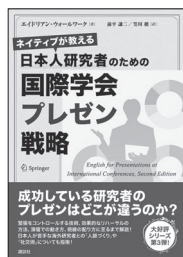


ネイティブが教える 日本人研究者のための 国際学会プレゼン戦略

エイドリアン・ウォールワーク・著
前平謙二 / 笠川 梢・訳

A5・368頁・定価：3,520円（税込）
ISBN 978-4-06-524385-5 **電子あり**

緊張のコントロール、効果的なりハーサル、視線の配り方に至るまで解説。日本人が苦手な海外研究者との人脈づくりや社交術も学べる！

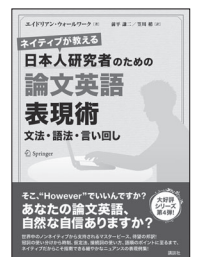


ネイティブが教える 日本人研究者のための 論文英語表現術

文法・語法・言い回し
エイドリアン・ウォールワーク・著
前平謙二 / 笠川 梢・訳

A5・320頁・定価：3,080円（税込）
ISBN 978-4-06-529530-4 **電子あり**

論文特化の英語表現集が待望の邦訳！ ネイティブらしい自然な言い回しのコツを225項目掲載。ワンランク上の論文に仕上がる！





Japan Society of
Histochemistry and Cytochemistry

Established 1959